



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和5年1月10日 第28号 みなみ学園義務教育学校

謹んで新春をお祝い申し上げます～飛躍の1年に～



保護者・地域の皆様におかれましては、ご家族様お揃いで、健やかに新年を迎えられたことと思います。

旧年中は、本校の教育活動推進のためご理解とご協力をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、今年もまた、みなみ学園の合言葉「私たちの最上位目標は、子どもの幸せ」のもと、子どもたちが安心して通学できるような学校づくりを進めてまいります。保護者・地域の皆様には、今年度残り3か月の学校運営に際しましても、これまでと変わらぬご支援とご協力をくださいますよう、よろしくお願いいたします。

12/15 (木) 5年生が土面づくりを行いました



藤原里子先生を講師にお招きし、5年生が土面づくりを行いました。作品は、ゴールデンウィークに行われる予定の「陶炎祭」に出品されます。子どもたちは、「自分の思いがいったい、どんな土面にするか。」についてじっくり考え、作品づくりに取り組みました。どんな風に仕上がっているか、今から楽しみです。



後期課程生が合気道に取り組みました



今年度も、公益財団法人合気会茨城支部道場より平澤先生と磯山先生を講師としてお招きし、後期課程生が、それぞれ8時間ずつ合気道の授業を行いました。平成24年度より、中学校体育で「武道」が必修になり、市内全中学校では、令和元年度から「合気道」を取り入れています。このことを受け、本校で授業を担当する山本渚先生は、「心 技 体 人を育てる総合誌『武道 VOL.671』」上に、「笠間発祥の合気道を学ぶことは、郷土教育の学びを深め、生徒が郷土への興味関心を高めるきっかけになった。」などと寄稿しています。

子どもたちは、授業8時間目となる場面で、演武(発表会)を行いました。静寂の中、子どもたちの鋭い動き、引き締まった表情が大変印象的でした。講師の先生からも、たくさん褒めていただきました。参観していた先生方からは、「礼儀正しく、背筋を伸ばして姿勢よく取り組んでいる姿に感動しました。普段の教科の授業では見られない真剣な子どもたちの表情、そして、ピンと張りつめた場の雰囲気がとても心地よかったです。」「合気道の授業を通して、子どもたちは技だけでなく『心』を学んだと思います。」「合気道は、心も体も磨ける武道であると思います。」などという感想が聞かれました。

合気道を通して、子どもたちは、「礼儀の大切さ」と「武道の楽しさ」をしっかりと学べたようです。



12/22 (木) クリスマスコンサート in みなみ



音楽部の皆さんは、令和4年も感染対策を講じながら日々練習に取り組んできました。今回のクリスマスコンサートでは、プログラムのイラストやパート紹介など、子どもたちのアイデアや思いをより生かしたコンサートにすることを目標に、準備を進めてきました。校舎一体型での生活も2年目を迎え、前期課程生と後期課程生の合同練習も進めやすくなり、子どもたちは協力し合って活動しています。

この日披露した曲は、金管合奏「大地のファンファーレ」「サンプル・エ・ムーズ」「赤いやねの家」、後期課程生によるリコーダーアンサンブル「星間連絡船」、「風の譜」、そして、プレミアムプラスセレクションクリスマス編です。「音楽を通して心をつなぐ。美しい音楽とともに穏やかな時間を。」という音楽部の皆さんの願いがこもった演奏は、会場いっぱいに広がり、会場みんなの気持ちを楽しく明るくしました。クリスマスの雰囲気を感じることができた、素晴らしい時間になったと思います。

音楽部では、現在3年生以上の皆さんの入部を歓迎しています。活動は、TBS こども音楽コンクール、NHK 全国学校音楽コンクールフリー参加、アンサンブルコンテスト、リコーダーコンテスト、クリスマスコンサート、学校行事等での演奏などです。ぜひどうぞ！

12/22 (木) 1年生親子がクリスマスリースを作りました



子どもたちの健やかな成長と豊かな人間形成のため、親が親として育ち、親の役割や家庭の在り方を再認識することなどを目的にした家庭教育学級の一環として、1年生親子がクリスマスリースづくりに取り組みました。この日は冷たい雨が降り、気温がとても低い一日でしたが、会場の技術室は、親子の楽しそうな会話や和やかな触れ合いにより、ぼかぼかと温かな雰囲気に包まれました。子どもたちは、それぞれ持ち寄った材料を使ってクリスマスリースを作り、出来上がったリースを電子黒板に写して紹介しました。自分の作品や友達の作品のよいところをみんなで共有することで、友達の新たな一面を見つけることもできたと思います。

20名の1年生は、ほとんどの子どもたちが、15歳になる9年生まで、この仲間と学習したり生活したり、部活動をしたりしながら共に成長していきます。これから過ごしていく日々、子どもたち同士、子どもと保護者、保護者同士の温かなつながりの中で、子どもたちが「なりたい自分」に育っていくことを願っています。

令和5年児童生徒会役員が決まりました

学校をリードしてきた筒井会長など9年生に代わり、昨年12月19日の選挙を経て、令和5年児童生徒会役員に任命された皆さんを紹介します。

児童生徒会会長 埴 梨音さん(8年生)
副会長 森田 寧萌さん(8年生)
副会長 永堀 司 さん(8年生)
書記 仲野 心蘭さん(7年生)
会計 福嶋 蒼大さん(7年生)

児童生徒会役員の皆さんが、役員立候補に当たり、全校児童生徒に呼びかけていたのが

- 1 みなみ学園全員での積極的な交流
- 2 特別活動(学校行事や集会活動など)の内容検討
- 3 明るい挨拶が交わせる学校

などです。学校全体のことを考えた皆さんの強いリーダーシップで、みなみ学園をさらによりよい学校にしてほしいです。



(文責：野尻)